



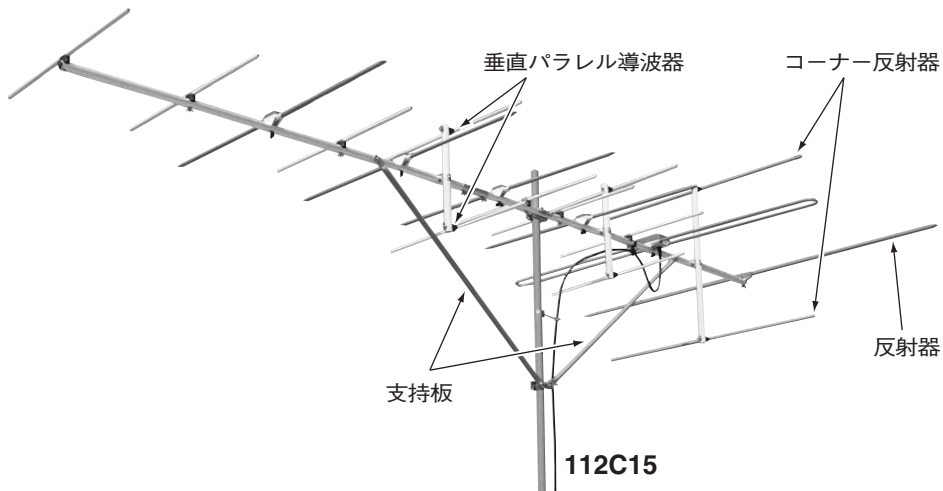
普及型

VHFテナー (家庭用)

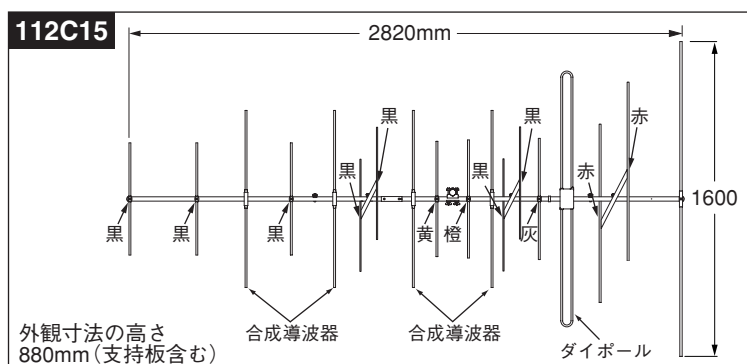
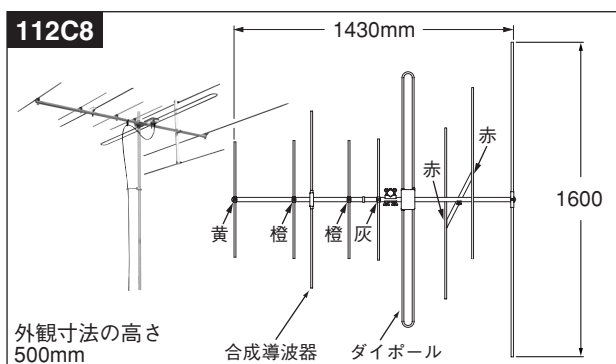
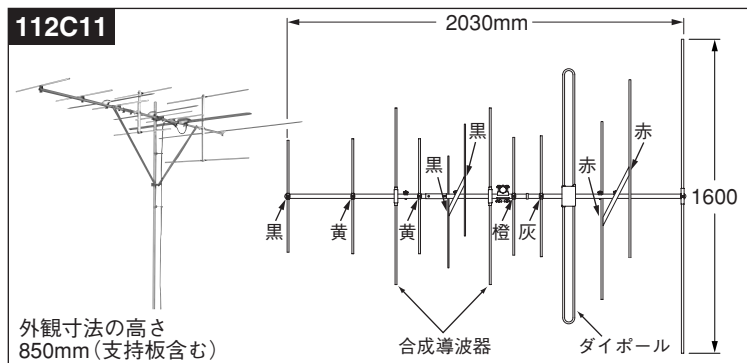
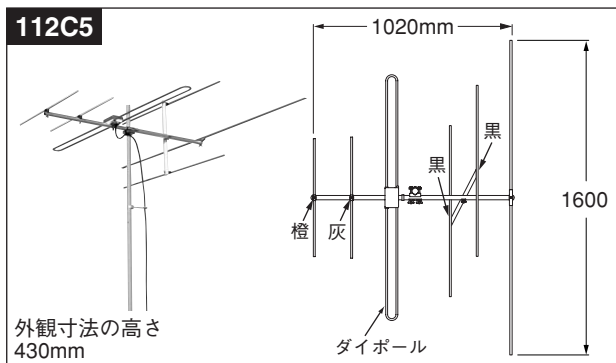
取扱説明書

75Ω用

VHF TENNAS
ch1~12
水平・垂直偏波用
112C5 (5エレメント)
112C8 (8エレメント)
水平偏波用
112C11 (11エレメント)
112C15 (15エレメント)



MAStier of PROduction
生産の勤者



矢印で示している色は、各エレメントの中央の色表示で、アンテナを組立てるときの目印です。(エレメントの色ではありません)

優れた性能

3本の反射器

上下に並んだコーナー反射器(ch4~12用)と反射器(ch1~3用)によって、前後比が優れていますから、後方からの反射波によるゴースト(二重像)を軽減して、きれいな画像を見ることができます。

垂直平行導波器 (112C11・112C15)

上下に並んだ導波器によって、優れた利得を実現。

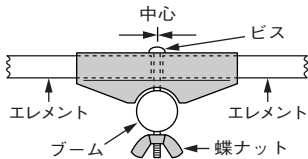


組立方法 (水平偏波を受信する場合)

ブームと各エレメントの水平・垂直をよく確かめて、すべての蝶ナット・蝶ボルトをしっかりと締付けてください。

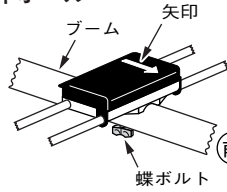
112C5・112C8 垂直偏波を受信するときは、p.4「垂直偏波を受信する場合」をご覧ください。

反射器



2本のエレメントが中心のビスに当たるまで差込んでから、蝶ナットをしっかりと締付けてください。

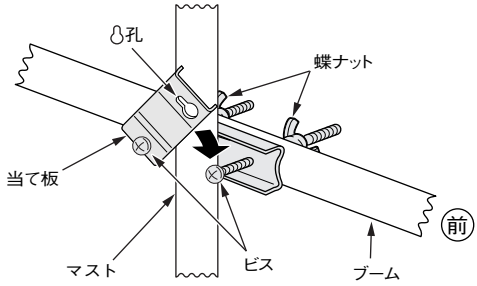
ダイポール



矢印を前方向に向けて取付けてから、蝶ボルトをしっかりと締付けてください。

固定金具

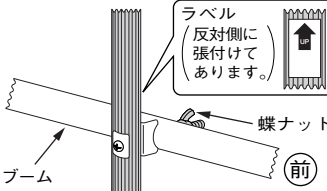
(ブームに付いています)



図のように、蝶ナットをゆるめ、当て板の○孔側を外し、アンテナをマストに取付けてから、○孔にビスの頭を挿入し、蝶ナットをしっかりと締付けてください。

反射器ブーム

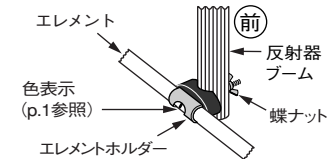
(ブームに付いています)



蝶ナットをゆるめ、ラベルの矢印の方向を上にして、反射器ブームを起こしてから、蝶ナットをしっかりと締付けてください。

コーナー反射器

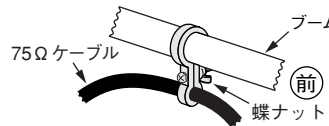
(反射器ブームに付いています)



エレメントの中央についている色表示をエレメントホルダーの中央に合わせてから、蝶ナットをしっかりと締付けてください。

ケーブルストッパー

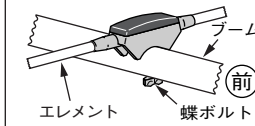
(ブームに付いています)



蝶ナットをゆるめ、75Ωケーブルを取付けてから、蝶ナットをしっかりと締付けてください。

合成導波器

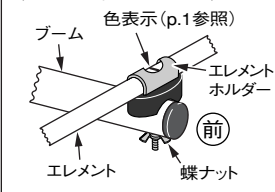
(112C5にはありません)



ブームに取付けてから、蝶ボルトをしっかりと締付けてください。

導波器

(ブームに付いています)



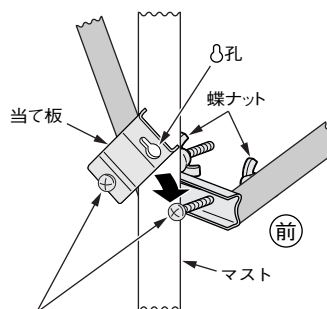
エレメントの中央についている色表示を、エレメントホルダーの中央に合わせてから、蝶ナットをしっかりと締付けてください。

112C11・112C15

- 支持板、垂直平行導波器、ブーム接続金具以外の組立は、112C5・112C8と同じです。
- 112C11・112C15は、垂直偏波を受信できません。

支持板(マスト側)

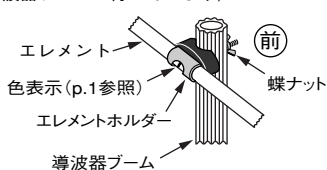
(アンテナを組み立ててから取付けてください。)



図のように、蝶ナットをゆるめ、当て板の○孔側を外し、支持板をマストに取付けてから、○孔にビスの頭を挿入し、蝶ナットをしっかりと締付けてください。

垂直平行導波器

(導波器ブームに付いています)

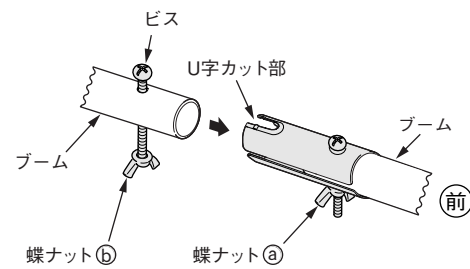


エレメントの中央についている色表示をエレメントホルダーの中央に合わせてから、蝶ナットをしっかりと締付けてください。(導波器ブームは112C5・112C8の反射器ブームと同じように組立てください。)

アンテナ方向固定ブーム HKB22(別売) 風の強い場所に取り付けるときに使用します。

ブーム接続金具

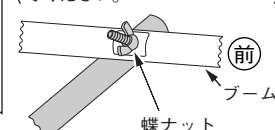
(ブームに付いています)



図のように、蝶ナット①・②をゆるめ、U字カット部にビスの頭を挿入し、蝶ナット③・④をしっかりと締付けてください。

支持板(ブーム側)

(アンテナを組み立ててから取付けてください。)



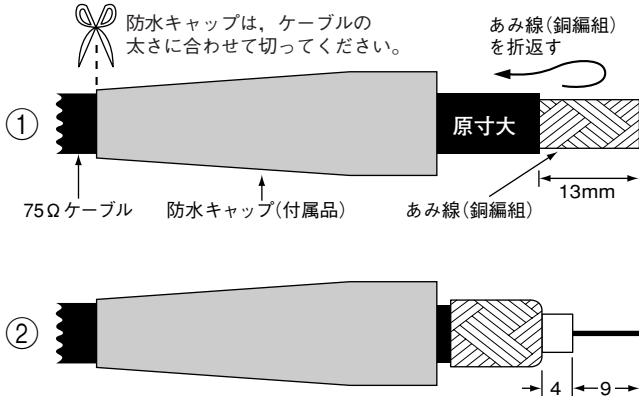
ブームに付いている蝶ナットをゆるめ、支持板をブームに取付けてから、蝶ナットをしっかりと締付けてください。

コーナー反射器、導波器、垂直平行導波器のエレメントが外れたときは、各エレメントの中央に付いている色表示を確認して取付けてください。

ケーブルの取付け

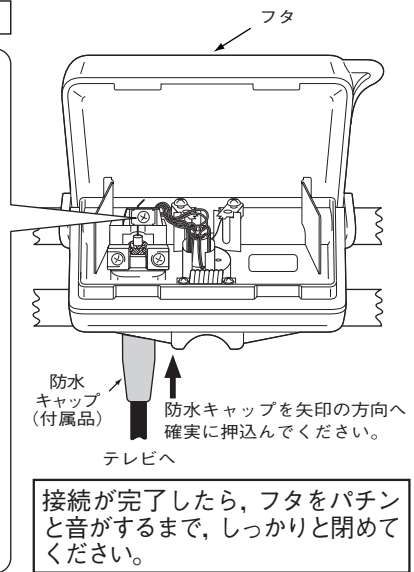
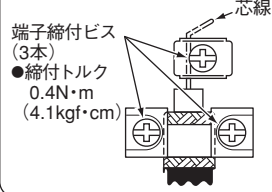
75Ωケーブルの加工

- 75Ωケーブルは、5Cまたは4Cをお使いください。
- ケーブルを付属の防水キャップに通してから、先端を加工してください。



ダイポールへの接続

- 芯線は、あみ線(銅編組)に触れないようにしてから、まっすぐ挿入してください。はみ出した芯線は、曲げてください。
- あみ線(銅編組)が、芯線を取付ける端子に触れないようにしてください。
- 端子締付ビス(3本)を指定のトルクで締付けてください。

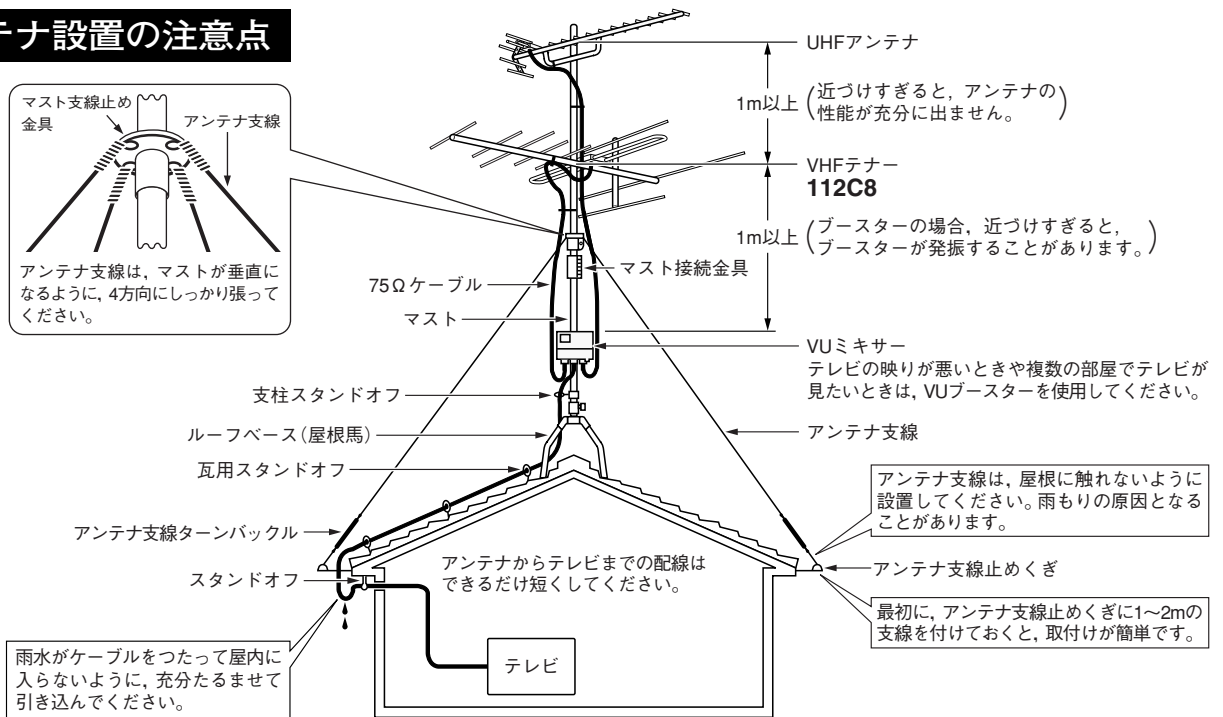


アンテナ取付作業の注意点

注意 アンテナを高所や屋根に設置する場合、技術と経験が必要ですから、必ず購入店にご相談ください。

- アンテナは、設置する場所により受信レベルが違います。アンテナを取付けるときは、テレビの画像が最良になるように、位置・高さ・方向を変えてください。
- アンテナを取付けるときは、落下防止のため、アンテナや取付金具・工具をヒモで結ぶなどの安全対策をしてから作業してください。
- 高所での作業は非常に危険です。万全の安全対策をして取付けてください。また、屋根に登ると、思ったより高く感じられ、足場も不安定です。滑らないように、充分気をつけて作業してください。
- アンテナの取付け・支線張りなどの作業は、必ず2人以上で行なってください。
- 雨降り・強風など、天候の悪い日の取付作業は非常に危険ですから、絶対にしないでください。また、夏の炎天下では、屋根が非常に熱くなっていますから、注意してください。
- 感電防止のため、アンテナは電線(電灯線・高圧線・電話線など)からできるだけ離れた(万一、倒れても電線に触れない)場所に設置してください。
- 台風や大雪などによって、アンテナ・取付金具・マスト・ルーフベース(屋根馬)・支線などに異常があったり、ビスやボルト・ナットなどがゆるんだりしていないか、必ず点検してください。また、アンテナが破損・変形した場合、新しいものと交換してください。そのままにしておくと、アンテナや取付金具などの部品が、破損・落下して、けがの原因や建造物に損害を与える原因となることがあります。

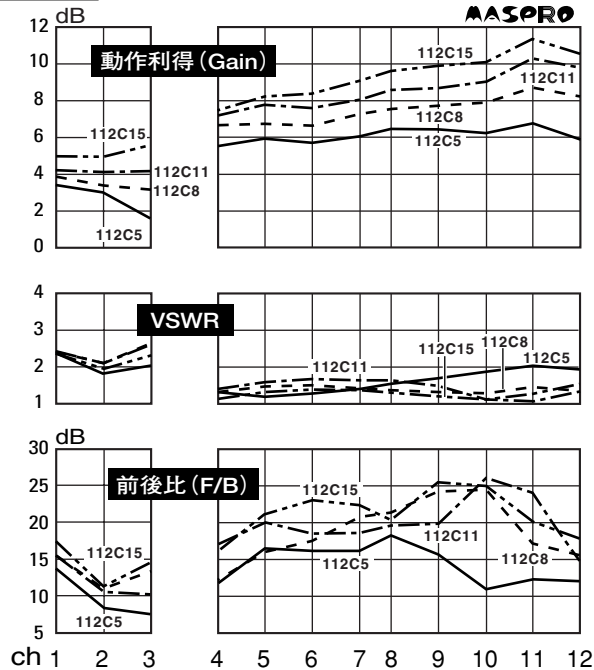
アンテナ設置の注意点



アンテナの方向調整

- 近くに建っているVHFアンテナの方向を参考にして、調整してください。
- テレビの画面を見ながら、最良の画像になるようにアンテナの向きを調整してください。
- アンテナの方向調整後は、ルーフベース(屋根馬)のマスト固定ボルトをしっかりと締付けてください。

性能



VSWRについて

VSWRは、インピーダンスの整合の度合を表したものです。VSWRが3以下(1に近いほど良い)なら、優れたアンテナといえます。

VSWR	整合損失(利得の低下)
1	完全整合で無損失
1.5	0.2 dB (損失)
2	0.5 dB (〃)
3	1.2 dB (〃)

指向性能

指向性は前後比と半値角度で表します。

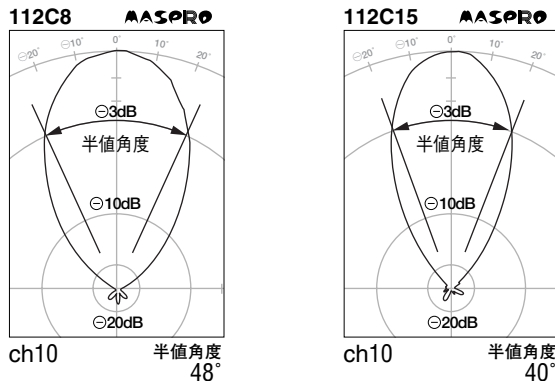
前後比 (F/B) について

前後比は前方と後方の感度の比をdBで表したものです。前後比が大きいほど、後方からの反射波によるゴースト(二重像)が軽減されます。

半値角度について

半値角度は指向性の鋭さを示し、半値角度が狭いほど、

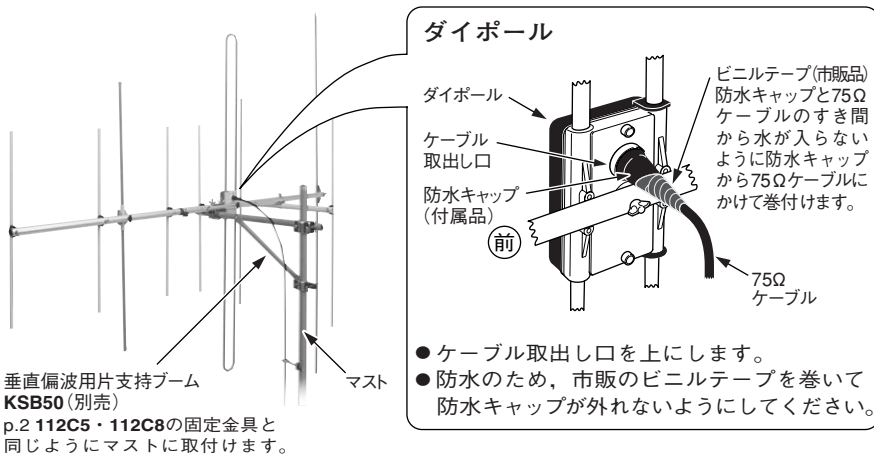
- 前方からの反射波によるゴースト(二重像)が軽減できます。
- 動作利得が高くなります。



すべてのグラフは、マスプロ独自の全自動アンテナ測定装置が描いたものです。マスプロの性能表に絶対うそはありません。保証します。

垂直偏波を受信する場合 (112C5・112C8)

垂直偏波を受信する場合、必ず別売の垂直偏波用片支持ブーム KSB50 を使用して、マストに取り付けてください。



- ケーブル取出し口を上に出します。
- 防水のため、市販のビニルテープを巻いて防水キャップが外れないようにしてください。

ご注意

片支持ブームを使用しないで、直接、金属製のマストに取り付けないでください。利得が最大75%低下します。

付属品

防水キャップ……………1個

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。



本社 〒470-0194 (本社専用番号) 愛知県日進市浅田町
 技術相談 TEL名古屋 (052) 805-3366
 受付時間(土日祝日、当社休業日を除く)
 9~12時、13~17時
 インターネットホームページ www.maspro.co.jp
 技術相談以外は、お近くの支店・営業所にお問合わせください。

支店・営業所

沖 縄 (098) 854-2768
 鹿 児 島 (099) 812-1200
 宮 崎 (0985) 25-3877
 熊 本 (096) 381-7626
 長 崎 (095) 864-6001
 福 岡 (092) 531-3861
 情報通信営業部 (092) 531-3879
 北九州 (093) 941-4026
 下 関 (0832) 55-1130
 広 島 (082) 230-2351
 松 江 (0852) 21-5341

岡 山 (086) 252-5800
 松 山 (089) 973-5656
 高 知 (088) 882-0991
 高 松 (087) 865-3666
 姫 路 (0792) 34-6669
 神 戸 (078) 843-3200
 大 阪 (06) 6635-2222
 情報通信営業部 (06) 6632-1144
 京 都 (075) 646-3800
 津 (059) 234-0261
 岐 阜 (058) 275-0805
 名古屋 (052) 802-2233
 情報通信営業部 (052) 804-6262

豊 橋 (0532) 33-1500
 静 岡 (054) 283-2220
 松 本 (0263) 57-4625
 福 井 (0776) 23-8153
 金 沢 (076) 249-5301
 新 潟 (025) 287-3155
 横 浜 (045) 784-1422
 渋谷 (03) 3409-5505
 情報通信営業部 (03) 3499-5631
 青 戸 (03) 3695-1811
 八王子 (0426) 37-1699
 千 葉 (043) 232-5335
 さいたま (048) 663-8000

前 橋 (027) 263-3767
 水 戸 (029) 248-3870
 宇都宮 (028) 660-5008
 郡 山 (024) 952-0095
 仙 台 (022) 786-5060
 盛 岡 (019) 641-1500
 秋 田 (018) 862-7523
 青 森 (017) 742-4227
 札 幌 (011) 782-0711
 釧 路 (0154) 23-8466
 旭 川 (0166) 25-3111
 北 見 (0157) 36-6606

特許	第2516010号
〃	第2548557号
〃	第2620091号